

消費税増税、原発再稼働、  
集団的自衛権行使――

# 安倍内閣の暴走許さないの声を

押し寄せる

## くらし破壊の大波

### ■消費税大増税

続いて10%への増税が待ち構えています。  
くらしの底が抜けてしまいます。



### ■年金削減

高齢者の悲鳴が上がっています。

### ■非正規雇用

安倍内閣がねらう労働者派遣法の改悪が通れば、派遣労働は無期限・無制限に拡大され、「生涯ハケン」に。

### ■介護保険の大改悪

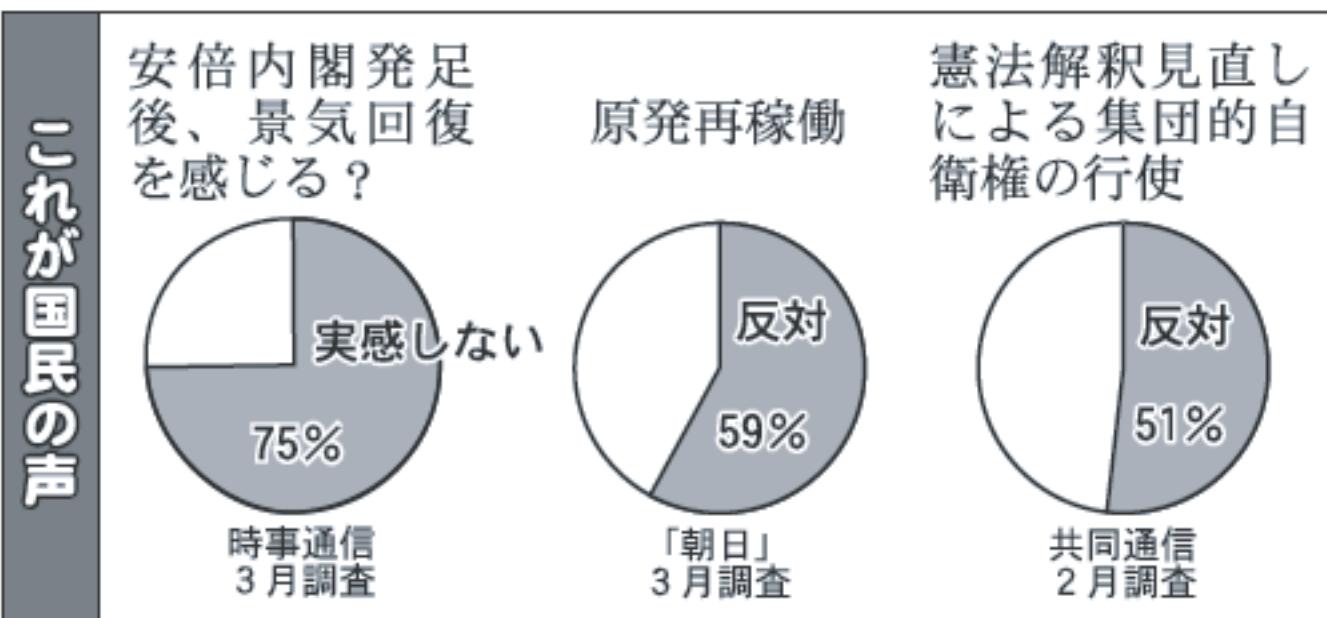
安倍内閣が実施をもくろむ介護保険大改悪では「要支援者」向け介護を市町村に丸投げ、特養ホーム入所者を原則、要介護3以上に限定などなど——介護難民続出の恐るべき事態が。合わせて、医療制度も改悪しようとしています。

## 憲法9条をなきものにして “戦争できる国づくり”

憲法のどこにも「集団的自衛権行使」を容認する条文はありません。なのに、「政府の解釈」を無理やり変えて認めてしまおうという安倍内閣。9条を空文化し、アメリカと一緒に世界で戦争する国をつくろうとしています。

# 日本共産党に

安倍政権の暴走は、国民多数の声にそむいています。日本共産党は真正面から対決して、国民の利益のためにがんばります。



### 地方選挙の結果は国政にも影響

1月、沖縄の名護市長選では、辺野古への米軍基地建設に反対する現職市長が再選。市民は、安倍内閣による新基地おしつけ計画をきっぱり拒否しました。

3月の埼玉県議補選（川口市）では、定数2の選挙で日本共産党候補が当選。2月の東京・日野市議選や町田市議選で、日本共産党の候補者はいずれも全員当選。安倍内閣の暴走と正面から対決する党への期待が広がっています。

このうねりを伊勢崎市でも加速すれば、国政を大きく動かすことができます。

## 日本共産党と市民の力で くらし支えるあたたかい市政を

- 国保税（1世帯2万円）と介護保険料（1人1万円）の引き下げ。
- 小中学校全学年で30人以下学級、給食費無料化など子育て支援の充実。
- コミュニティバス路線の改善、デマンドバスの導入。
- 「まちなか商店リニューアル助成事業」の創設、中小企業振興基本条例の制定。
- 脱原発へ。再生可能エネルギーの市民利用を促進する制度の充実。
- 暮らしの安全へ、原発事故を想定した災害対策、防犯灯の抜本的増設、住宅耐震改修補助制度の改善。
- 米軍機の低空飛行訓練をやめさせる強力な働きかけ。
- 伊勢崎駅周辺開発は、住民生活や営業の見通しがもてるよう、さらに改善を。

### 財源は？

伊勢崎市の年間予算は一般会計だけでも759億円（14年度当初予算）。財政指標は県内主要5市でもっともよい市です。優先順位をはっきりさせ無駄を省くことで、市民本位の財政運営ができます。

また、基金としてためこんだお金は、緊急・切実な市民の願いを実現するために積極的に活用させます。



日本共産党

くらしの現場でいつもいっしょにい

市議会議員

長谷田きみこ

# はせだ公子